2019

Invitation to department of Plastic surgery in showa university hospital

医局員・同門会員

当教室は日本で最大規模の形成外科教室です。全国各地で活躍している先輩方が多数います。

医局員：180名　　同門会員：285名

以上のうち 医学博士：179名
日本形成外科学会専門医：203名
美容外科学会専門医：12名
手外科専門医：5名

出身大学に関係なく入局員を募集しています。
他大学からの入局者も多く、ほぼすべての大学の出身者がいます。

関連病院

同門が300名を超える昭和大学では全国に約50の関連病院があります。

＊東北
福島：太田西ノ内病院
秋田：秋田赤十字病院

＊中部
山梨：山梨赤十字病院
　　山梨県立中央病院
静岡：聖隷浜松病院
　　浜松赤十字病院
　　沼津市立病院
　　藤枝市立総合病院
愛知：西尾市民病院

＊九州
熊本：　荒尾市民病院
　　熊本機能病院
福岡：　聖マリア病院
　　川崎病院
　　製鉄記念八幡病院
　　福岡新水巻病院
佐賀：　佐賀大学医学部付属病院
鹿児島：今給黎総合病院

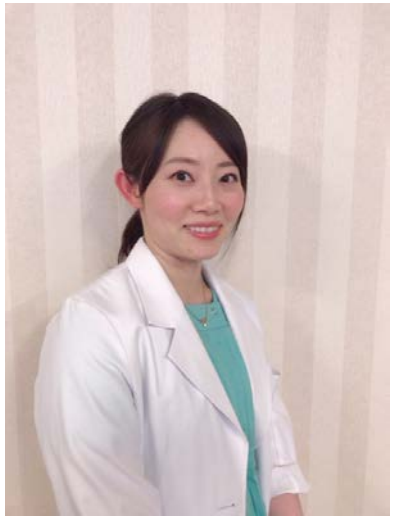
東京：
昭和大学江東豊洲病院
東京労災病院
東大和病院
東京逓信病院
北品川第三病院
東京共済病院

＊関東
栃木：上都賀総合病院
茨城：日立総合病院
　　ひたち医療センター
群馬：前橋赤十字病院
　　群馬小児医療センター
　　高崎総合医療センター

＊四国
高知：毛山病院

神奈川：昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院
埼　玉：埼玉小児医療センター、新久喜総合病院、
　　丸山記念病院、永井病院
千　葉：千葉県こども病院、船橋中央病院
　　千葉県救命救急医療センター
　　千葉大学医学部付属病院、習志野第一病院

平成31年度新入局員



中学生の頃に形成外科に憧れ、いまそのきっかけとなった先生と同じ手術に参加させて頂けている事には自分でも驚いています。
関連病院、対象疾患、先生方の出身大学等すべてが幅広い昭和大学形成外科プログラムで、様々な経験を積んでいきたいと思います。
見学等でお会いできるのを楽しみにしています。

Shirai

大学時代の講義で形成外科に興味を持ち、関連病院も多く症例数の多い昭和大学形成外科のプログラムを選びました。他大学出身の方も多く、間口が広いのも魅力です。様々な経験が積めると思いますので、是非一度見学に来てみてください。

Togawa

平成31年度新入局員

元々形成外科に興味があり、学生実習で手術を見学し部位、手技、規模などの幅広さに驚きました。その中から何か自分の専門分野を見つけたいと思い、形成外科専攻プログラムに登録しました。色々な病院を見学しましたが、その中でも昭和大学は症例数、指導医、関連施設も多く、専門や活動の幅も広くより魅力を感じました。
是非見学にいらしてお声かけ下さい。

Fukuda

学生の頃より外科系を選択しようと考えておりました。頭から足先まで多部位にわたる手術とそのバリエーションの多さに魅了され形成外科を志望しました。関連施設・症例数とも多い昭和大学の形成外科専門医プログラムを選択致しました。未熟者ですが頑張ります。

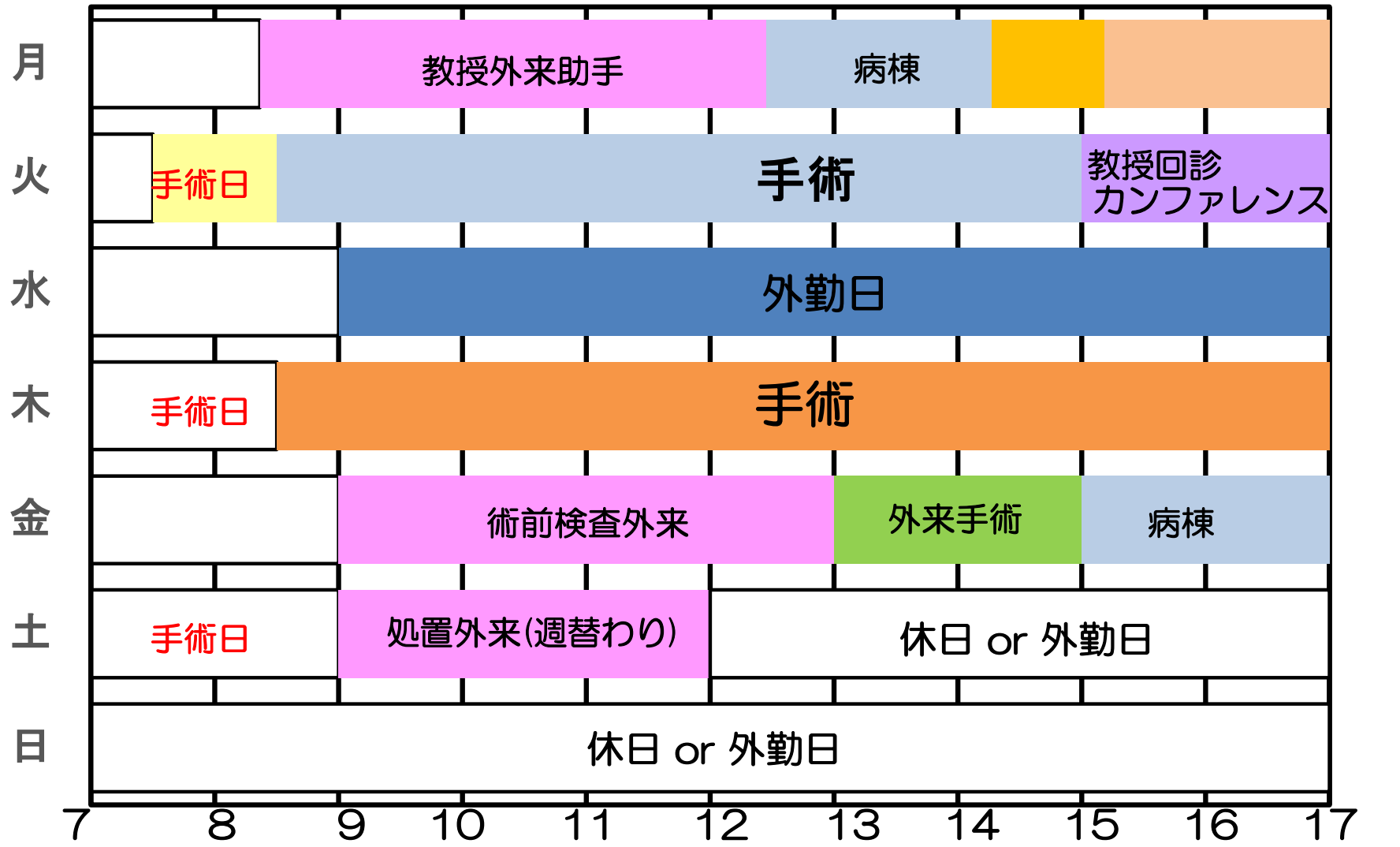
Morita

平成31年度新入局員

平成31年度入局の山本です。市中病院での初期研修終了後昭和大学の形成外科に入局させていただきました。精力的に研究、臨床に打ち込まれている先輩方とともに患者の皆様の力になれるよう精進して参ります。

Yamamoto

大学病院での週間業務



＊外来手術は月～金の午後に患者様の都合に合わせて予定されます。

専門医への道

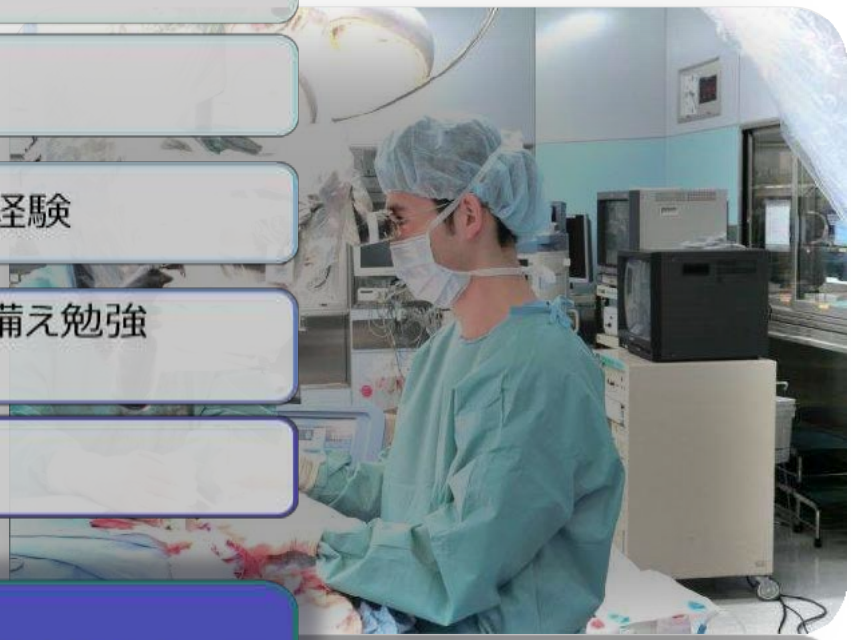
1年目
- 大学勤務
- 外勤先では局麻オペも
- 基礎をたたきこむ
- 大学院入学

2年目
- 関連病院勤務
- 徐々に執刀

3年目
- 関連病院勤務
- 豊富な症例を経験

4年目
- 大学勤務
- 博士号取得
- 専門医試験に備え勉強

5年目
- いざ専門医試験！！！



当医局員過去5年間 合格率95%！！

当医局の研修医プログラムの詳細は
こちらをクリックしてくださいくく

大学院

入学・卒業について

- 入学試験は春季・秋季の年二回あり、入学希望者には簡単な英語の試験が課されます。
- 入学は任意ですが、これまでの入局者の多くが入学しています。
- 卒業には4年次終了までに大学院での授業単位+学位論文が必要です。
- 必要な単位は大学での勤務中に取得することが可能です。

研究内容

- 口唇口蓋裂の統計学的研究
- 口唇裂初回形成術における boneless bone graftの研究
- 人工埋入物の組織学的研究
- 培養皮膚を用いたレーザー照射後の修復過程の研究
- 虚血再灌流障害における皮弁の研究
- 微小血管吻合における添加剤のおよぼす血流変化の研究
- 乳房再建後の乳房の左右対称性の計測

Etc…

2018年 昭和大学形成外科 手術件数

	入院手術	外来手術	合計
★先天異常			
唇裂・口蓋裂	412	12	424
その他の先天異常	69	15	84
★乳房再建			約270
外傷			
顔面骨骨折	45	2	47
その他の外傷	6	11	17
腫瘍			
良性腫瘍（レーザー治療を除く）	70	263	333
悪性腫瘍	81	35	116
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	20	32	52
難治性潰瘍	14	5	19
炎症・変性疾患	11	51	62
美容（手術）	16	13	29

唇顎口蓋裂は
- 全国の1割強
- 東京都の約半数

の症例数を有しています

2010年にブレストセンターが開設されてから、乳房再建の件数も年々増えてきています

業務風景

教授回診

カンファレンス
（オペ前症例提示、デザイン等を検討）

手術室にて

医局行事の様子　他

納涼会
於　カレッタ汐留

オグズ先生講演
（現Uludag University教授）

ハンズオンセミナー

医局旅行

留学生、海外医療支援活動

留学生：148名　28ヶ国（1973年以降）

U.S.A.、アルゼンチン、イタリア、インドネシア、内モンゴル、エクアドル、エジプト、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、コソボ、スペイン、セルビア、タイ、台湾、中国、トルコ、パキスタン、ハンガリー、フィリピン、ブラジル、フランス、ベルギー、マダガスカル、南アフリカ、メキシコ、ルーマニア、イラク

現在、母国で教授として活躍されている先生方

title	Name	job title	department	institution	country
Professor	Jean-Marie Servant	Professor	Plastic Surgery	University of Paris	France
Professor	Mehmet Oguz Yenidunya	Professor	Plastic Surgery	Uludag University	Turkey
Professor	Dragos Pieptu	Professor	Plastic Surgery	Vice Rector, Gr. T. Popa University of Medicine and Pharmacy	Romania
Professor	Alain Danino	Professor	Plastic Surgery	Universite de Montreal	Canada
Commandar	piyoros preeyanont	Commandar	Plastic Surgery	Royal Thai Naval Hospital	Thailand
Professor	Chaula SuKasah	Professor	Plastic Surgery	University of Indonesia	Indonesia
Professor	Raphael Sinna	Professor	Plastic reconstructive and Aesthetic Surgery	University Hospital Amiens	France
Professor	Ali Teoman Tellioglu	Professor	Plastic Surgery	Yildirim Beyazit University	Turkey
Director	Radoje Simic	Director	pediatric plastic surgeon	Institute for mother and child health care of Serbia	Serbia

海外医療支援活動

●マダガスカル共和国口唇口蓋裂協力

手術適応時期に治療を受けられなかった子供たちに治療を行います。

●Operation smile や ArTra への参加

上記活動団体の一員となり、世界各国で治療を受けられない人たちに無償で医療を提供します。

Q&A

昭和大学形成外科には、毎年全国から沢山の先生方が見学にこられます。
ここでは、見学にこられた先生方から良く頂戴する御質問内容の一部と、その答えを示しましたので、御覧下さい。

Q&A① 研修コースについて

- 当形成外科は、全国において大学病院を含め約50の関連施設を有しています。レジデントの多様化の志向、ライフスタイルの変化（結婚、妊娠、出産など）に対応し、いくつかの研修コースをご用意しています。（全国コース、東京コース、関東コース、九州コースなど）各コースの詳しい内容は見学時、担当者にお聞きください。

- コース設定は、変更可能ですが、円滑な運用を行うため、ご希望は早めにお知らせください。

Q&A② 最初の勤務地について

- 最初の勤務地は原則、大学病院の本院となりますが、近年、入局者数増加のため、大学病院の分院や医局関連施設より始まる場合も多いです。

- 例えば、九州コースのレジデントは九州の関連病院より研修を開始したり、東京コースのレジデントが大学病院の分院で開始したりする例があります。

- H31年度の入局者紹介、および関連病院のページを参考にしてください。

Q&A③ 専門医取得について

- 大学病院、関東の関連施設だけでも、最短期間で専門医試験に合格できるだけの症例を集めることは十分可能です。

- ただし、都市部の施設より、地方の施設の方が、直接診療に携われる症例の数や執刀機会が多く、治療計画策定において任される裁量の範囲も広いため、手術や診療技術の習熟度が高い傾向があります。

- ライフデザインは人によって様々であり、必ずしも全てのレジデントの先生方が研修効率を優先したローテーションを希望する訳ではありません。私どもは、入局される先生方の将来設計に役立つキャリアパス作りをお手伝いしたいと願っています。

Q&A④ 専門医取得後のキャリアについて

- 専門医資格取得後においては、診療科長などのポストを得ることができるチャンスも地方の施設の方が多く、当医局では、大学病院で教職員スタッフ（講師以上）として継続的に後進の指導を行う医師には、原則として、診療科長あるいはそれに準じた臨床経験の習得を求めています。

Q&A⑤ 医局とのコミュニケーションについて

- 地方病院での勤務が長くなるにつれて、医局とのつながりが薄れる心配はありません。定期的に、納涼会、忘年会、同門会、医局旅行などを開催しており、医局員の皆さまには、ぜひこれらの機会を利用し、主任教授と医局長などに近況をお知らせいただきたいと思います。

- 関連病院での勤務や労働環境に関するご相談は、勤務先の上司がお受けしますが、相談しきれない場合は遠慮なく医局長にご相談ください。

Q&A⑥ 給料・福利厚生について

- レジデントの先生に仕事と研究に専念していただけるように、入局の人数に関係なく、全員に適正な収入を確保できるように配慮しています。

- 大学病院においては、平日外勤日、平日夜間、土日などの祝日を利用し学外の医療施設での当直業務が主な収入源となります。

- 関連病院においては、その病院の規定により異なりますが、一般に大学病院よりは高額であり、平日や休日の出張を必要としなくなることがほとんどです。引っ越し費用は赴任先の病院の規定により異なります。一般に遠隔地の施設のほうが、福利厚生は良いようです。

最後に

- 当医局は入局の意思表示の時期、出身大学により、医局員の処遇に差をつけることは一切ありません。これは当医局の伝統であり、皆平等に研修していく環境作りに努めます。

- 見学は随時受付しております。
  詳細は
  「当医局ホームページ→医局員・研修医の募集
  →入局案内」を御覧ください。

  https://showa-plasticsurgery.com/